

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小山市	代表者名	浅野 正富		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0285-22-9304		
担当者役職	室長	担当者氏名	五月女 博英	連絡先E-mail	
住所	323-8686 栃木県小山市中央町一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	当市が本年度下半期にDXビジョン・戦略の再構築を行うことについて、DXビジョン策定のプロセスや他自治体事例を交えて助言をいただきました。 また、所属課や年齢層に関わらず幅広く、職員30名に対し「やめることから考える」DXワークショップのメイン講師として、グループワークでの議論を円滑に出来るようファシリティー役を担っていただきました。このワークショップを通じ、各課が抱えている課題を把握し合い、DX推進の機運醸成に繋がると同時に、今後のDXビジョンにて検討すべき事項が抽出できました。
アドバイザーへの要望事項	今回のワークショップでの成果物や、今後予定している各課とのヒアリングから、各課が抱えている課題の整理を行い、DXビジョン・戦略にどのように結びつけて行く方法について、ご助言いただきたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年10月25日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	16時30分	60
			活動時間（分）	330	
3-2. 派遣場所	会場名	小山市役所	最寄駅	小山駅	
	所在地	小山市中央町一丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（役職問わず）	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	国のDX戦略推進計画、及び、小山市第3次情報化基本計画に基づき、自治体DX計画や単発的なデジタル化は推進しているものの、DXとしてのビジョンが明確ではなく、DXの方向性が謳われていないため、軸足がしっかりとしていないのが現況です。 そこで、本市の自治体DX戦略再構築のため、現状のDX推進状況について棚卸し、各課が抱えている課題を可視化して、今後の当市DXの進むべき方向性を明確化していくことが課題です。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本市の自治体DX戦略推進のため、DX推進に関わる職員同士の情報共有や関係構築により、DX推進の機運醸成を図り、デジタル化の方向性を適切に設定（DXビジョンの再構築）することを目指します。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	本市が下半期に取り組む「DXビジョンの再構築」に向けた段取りの打合せを行い、職員向けに「やめることから考える」DXワークショップのメイン講師を務めて頂きました。 ワークショップでは、各課の担当者がやめたいと思っている業務や作業をECRS（イクルス）の手法で整理し、課題解決のアイデアを具体化する方法についての考え方と手順を学ぶことができました。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	ワークショップでは、各部署より定員24名を超える30名の職員が受講しました。各課の担当者が、やめたいと思っている業務や作業をE CRS (イクルス) のフレームワークにより、業務をE (廃止) C (結合) R (入替・代替) S (単純化) で整理し、再定義する手法により、課題解決に向けた案をグループごとに定義しました。その後、PPCO法により、具体的な解決方法 (アイデア) をまとめ発表しました。 このワークショップを通して、各課が抱えている課題について把握・共有することができました。ワークショップの成果を基に、DXで解決出来る施策を実施していきたいと思ひます。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回のワークショップでは、参加職員が課題抽出を行い、DXによる課題解決の機運醸成に繋がったと思ひます。 第2回、第3回の派遣においては、アセスメントシートを活用した各課とのヒアリングによる課題抽出を実施し、DXビジョン再構築に向けて取り組んでいきます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別添資料のとおりです。DX担当者及び受講者にとって、大変有意義なワークショップであったと思ひます。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	本年度は、国や県の各種アドバイザー派遣制度を活用することにより、専門的な知見を持つアドバイザーの助言を得ながら、本市のDXビジョンの再構築を進め、来年度は外部DX人材を活用することで、本市のDX施策を具体化していきたい。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

